

製品安全データシート

作成:2009年 4月 6日

改訂:2011年10月20日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KMO48-05
製品名 : スミチオンダコニール粉剤DL
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : 生産資材部生産業務課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3827-0825
緊急連絡先 : 同上
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	自己発熱性化学品	: 区分外
	自然発火性固体	: 区分外
	水反応可燃性化学品	: 区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分外
	急性毒性(経皮)	: 区分外
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分外
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分2A
	皮膚感作性	: 区分外
	発がん性	: 区分1
	生殖毒性	: 区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分1(呼吸器系)、区分2(神経系)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 区分1(呼吸器系、腎臓)、区分2(神経系)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分1
	水生環境有害性(慢性)	: 区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・強い眼刺激
- ・発がんのおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・臓器(呼吸器系)の障害
- ・臓器(神経系)の障害のおそれ
- ・長期または反復暴露による臓器(呼吸器系、腎臓)の障害
- ・長期または反復暴露による臓器(神経系)の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【予防策】

- ・使用前に取扱い説明書を手し、安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・取扱いの際には、飲食または喫煙をしないこと。
- ・指定された個人用保護用具(保護眼鏡、保護面)を着用すること。
- ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後はよく洗うこと。
- ・漏出物を回収すること。
- ・環境への放出を避けること。

【対応】

- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
- ・眼に入った場合、直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずし、その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：O, O-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル)チオホスフェート

／一般名：フェニトロチオン (MEP)

テトラクロロイソフタロニトリル／一般名：クロロタロニル (TPN)

成分及び含有量：	フェニトロチオン (MEP)	3.0%
	クロロタロニル (TPN)	5.0%
<その他>	結晶質シリカ (石英)	88.0%
	鉱物質微粉、凝集剤 等	4.0%

化学式： $C_9H_{12}O_5NPS$ / フェニトロチオン

$C_8Cl_4N_2$ / クロロタロニル

官報公示整理番号：	化審法	(3)-1805	クロロタロニル
		(3)-2616	フェニトロチオン
		1-548	結晶質シリカ(石英)
	安衛法	4-(9)-232	フェニトロチオン
		4-(7)-539	クロロタロニル

CAS No.：	122-14-5	／ フェニトロチオン
	1897-45-6	／ クロロタロニル
	14808-60-7	／ 結晶質シリカ(石英)

4. 応急措置

目に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。TPNの眼症状には、対症療法が有効である。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流す。石鹼を用いると症状が悪化する場合がある。TPNの皮膚症状にはステロイド剤の投与が有効である。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。汚染された衣

類や保護具を取り除く。直ぐにはなにも症状が認められなくても、必ず医師の診断を受ける。

TPNによる呼吸器症状にはぜん息対症療法が有効である。

飲み込んだ場合：被災者を直ちに新鮮な空気の場合に移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

消火剤：水、強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器

消火活動上の注意：燃焼又は高温により腐食性ヒューム、有毒なガス（塩化水素等）が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

6. 漏出時の措置

作業者に対する注意：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境影響に対する注意：流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

流出物の処理に対する注意：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。真空掃除機で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で取り除く。少量の水を散布し飛散を防止して作業する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：取り扱いは換気のよい場所で行い、粉塵のこもり易い場所では取り扱わない。漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに粉塵を発生させない。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。かぶれやすい体質の人は作業に従事しない。

火災・爆発の防止：通常の保管方法で問題無し。

保管上の注意：直射日光が当たらない乾燥した冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. 暴露防止措置

管理濃度：鉱物性粉じん $E = 3.0 / (1.19Q + 1)$

E：管理濃度(mg/m³) Q：当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)

(作業環境評価基準 平成21年厚生労働省告示第195号 平成21年3月31日)

許容濃度：シリカ TLV-TWA 0.025mg/m³ ACGIH (2010年)

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。

保護具 呼吸用保護具：防塵マスク

保護手袋：保護手袋（ゴム手袋）

保護眼鏡：保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

保護衣：作業着、帽子、保護服、保護クリーム

9. 物理・化学的性質

外観等	:	類白色粉末
臭い	:	データなし
pH (5倍希釈液)	:	3.7(参考値)
融点・凝固点	:	データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	:	データなし
引火点	:	データなし
発火点	:	データなし
燃焼性	:	データなし
燃焼又は爆発範囲	:	データなし

蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
密度・比重	: 0.81(参考値)
溶解度	: データなし
オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管環境下で安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀	2,500 mg/kg 以上
急性毒性（経皮）	: ラット(♂ ♀) LD ₅₀	2,000 mg/kg 以上
急性毒性（吸入：蒸気）	: データなし	
急性毒性（吸入：粉じん）	: データなし	
皮膚腐食性／刺激性	: ウサギ	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: ウサギ	眼に対する刺激性が認められ、14日で回復していることから区分2Aとした
呼吸感作性	: データなし	
皮膚感作性	: Buehler法による試験の皮膚感作性は認められなかった。	
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: データはないが、区分1に分類される石英を0.1%以上含有することから、区分1とした。	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 区分1(呼吸器系)の石英(結晶質シリカ)を10%以上、区分1(神経系)のフェニトロチオン(MEP)を、1.0%以上、10%未満含むことから、区分1(呼吸器系)、区分2(神経系)とした。	
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 区分1(呼吸器系、腎臓)の石英(結晶質シリカ)を10%以上、区分1(神経系)のフェニトロチオン(MEP)を、1.0%以上、10%未満含むことから、区分1(呼吸器系、腎臓)、区分2(神経系)とした。	
吸引性呼吸器有害性	: データなし	

12. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀	1.6 mg/l (96時間)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀	0.11 mg/l (48時間)
藻類	: EC ₅₀	5.9 mg/l (72時間)
残留性／分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壌中の移動性	: データなし	
その他	: 水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼす	

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : クラス9(有害性物質)
国連番号 : 3077(環境有害性物質、固体)

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第21649号
消防法 : 非該当
労働安全衛生法 : 第18条の2(通知対象物質):フェニトロチオン(MEP)(政令番号349)
: 第18条の2(通知対象物質):結晶質シリカ(石英)(政令番号312)
: 粉じん障害防止規則
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 第一種指定物質 251号 フェニトロチオン
: 第一種指定物質 260号 クロロタロニル(TPN)
毒物劇物取締法 : 非該当

16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) J I S Z 7 2 5 2 : 2 0 0 9 G H Sに基づく化学物質等の分類方法
2) G H S対応ガイドライン 製品安全性データシートの作成指針(改訂2版)
平成20年10月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第13版 平成22年4月 農薬工業会

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。